

保護司会会報

発行 西多摩地区保護司会 会長 中野 修 編集 西多摩地区保護司会 広報部 発行日 令和7年11月15日



二宮神社例大祭（しょうが祭・宮入り）：あきる野市役所提供

目次

- | | |
|---|-------------------------------|
| ・ 表紙・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 | ・ 西多摩桐友会 齋藤徹新会長挨拶・・・・・・・・・・ 7 |
| ・ 第75回社会を明るくする運動・・ 2～5 | ・ 西多摩地区更生保護女性会結成60周年記念式典・・ 7 |
| ・ 社明中間報告表・・・・・・・・・・ 5 | ・ 会務報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8 |
| ・ 令和7年度第6ブロック
保護司組織運営連絡協議会・・・・・・・・ 6 | ・ コラム・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8 |
| ・ 令和7年度 自主研修・・・・・・・・・・ 6 | ・ 編集後記・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8 |

第75回社会を明るくする運動 八分区活動報告

青梅分区

藤谷 立自

無視して通り過ぎる人、何をしているのだと怪訝そうな人、黙って受け取ってくれる人、ご苦労様と軽い挨拶をして受け取ってくれる人。毎年社会を明るくする運動の啓発活動日に見られる光景です。この運動は今から75年も前から24団体の組織が協賛して延々と行われていますが、世の中にはどういうわけか浸透しておりません。私も保護司になって初めて知った運動ですから無理ありません。しかしこの2～3年、少しずつ根付いてきたようにも感じられます。

7月1日午後4時、青梅市役所の広場で第75回青梅市社会を明るくする運動の出発式が行われました。その後、青梅駅周辺、東青梅駅周辺、河辺駅・中央図書館およびTAIRAYA吉野店、ドラッグセイムス吉野梅郷店周辺に分散して、啓発グッズを配布しながら通行人に社会を明るくする運動の趣旨を呼び掛けました。この運動には毎年市内の中学生が参加してくれます。今年も一中、西中、霞台中、新町中、泉中の生徒さんが多数参加してくれて、元気いっぱい満面の笑みでグッズを配りながら社会を明るくする運動を盛り上げてくれました。通行人の誰かの心に少しでも残ってくれたらうれしく思います。



福生分区

町田 和子

福生市の社会を明るくする運動は、福生地区推進委員会の開催と啓発活動の二つです。推進委員会は6月26日に開催し、更生保護女性会、民生・児童委員、学校関係者を始め地域で活動されている方86名の参加があり、まず、社会を明るくする運動の趣旨である内閣総理大臣メッセージを大河内分区長から市長の代理として出席いただいた福島副市長へ伝達し、趣旨を共有しました。その後、「増加しているSNSを媒体とした犯罪の現状」と題して、ITアドバイザーの篠村清人氏の講演会を行いました。スマートフォンを利用した犯罪に、多くの参加者が関心を持って聞き、生成AIについて質問をしたところ、その答えと生成AIの技術に驚いていました。犯罪の手口が高度化し、誰もが心配する中で、講演は現状を理解し、それぞれの取組の参考となりました。

啓発活動は2回実施し、7月1日には加藤市長、中学生、更生保護女性会、福生警察署員の方々にも参加いただき、福生駅と牛浜駅で、また、8月9、10日の福生七夕まつりにおいても実施しました。

特に啓発活動では、短い時間でこの運動の趣旨を伝えていくには難しさがあると感じました。



羽村分区

荻原 稔

6月5日に行われた推進委員会のあと、7月1日の夕方には、羽村駅と小作駅で駅頭広報を行いました。でも、参加予定の中学生が、雷警報発令のため来られなかったのは残念でした。7日から10日には、市内10校の小・中学校と都立高校・特別支援学校への学校訪問を行って、青少年に一番近い支援機関である学校現場の声を直接伺うことができ、作文コンテストや保護司活動についての説明もできました。7月23日には、プリモホールゆとろぎで羽村市大会を行い、有村架純さん主演の映画「前科者」を上映し、71名の方々が鑑賞しました。虐待や孤立、差別や薬物乱用など重い課題を凝縮したストーリーでしたが、実直な若い保護司が対象者に寄り添った活動を進めていく姿に励まされ、上映後には感想や質問などもいただいて交流できました。この後、夏休み明けには作文コンテストの審査がありますので、いい作品を期待しています。さらに、秋には「はむら市民と産業のまつり」に展示ブースを設置する予定です。



あきる野分区

岡部 秀敏

本年度は、5月に総理大臣メッセージを市長に伝達し「第75回社会を明るくする運動」への協力を依頼しました。その後、各団体へ協力依頼も行いました。本年度もあきる野分区は、保護司のほかに、更生保護女性会・中学生・高校生・市役所職員の協力を得て、社会を明るくする運動強調月間初日の7月1日に駅頭（武蔵五日市駅・武蔵増戸駅・秋川駅・東秋留駅）で、五日市中学校、増戸中学校、西中学校、御堂中学校、東中学校・五日市高校・秋留台高校の生徒及び教職員の協力を得ることで広報活動を実施することができました。中高生の明るい呼びかけ「社会を明るくする運動へご協力を」とともに、駅を利用する多くの方に啓発グッズ（今年はポケットティッシュ）を配布し、広報活動を実施することができました。

駅頭活動には、市長、副市長、教育長をはじめ多くの市役所の職員が分担しての参加も心強いものでした。広報活動には実施時間や場所等に課題も見えていますが、参加した生徒の皆さんの「この経験を生かして社会を明るくすることに協力できればと思います。」の感想に感激しました。また、参加者から「以前はこの活動を知らず、ネットで調べて意味を知りました。」との話を聞き、駅頭活動の意義を再確認することができました。



瑞穂分区

小山 幸久

昨今の猛暑、酷暑の中それは行われました。

6月20日、瑞穂第二中学校体育館はムシムシとして風通しも悪い中、社会を明るくする運動の学校訪問です。

生徒たちが整然と入場してきました。講師は当分区の中村保護司です。始まる前はガヤガヤと騒がしかったのですが、いざ講話が始まると館内はシーンと静まり返り中村保護司の話に聞き入っていました。講話は「保護司の役割」や、「犯罪に巻き込まれないよう注意していきましょう」との内容でした。中村さんは保護司である一方保護者でもあるようで、家庭では何事も隠さず気軽に相談できるような環境づくりに努めていると話されていました。

7月1日、おはようございます。行ってらっしゃい。社会を明るくする運動です。早朝7時、社会を明るくする運動駅頭活動の開始です。早朝にも関わらずとにかく暑い。私たちのほかに更生保護女性会と中学生数名により、水分補給をしながら約1時間の活動でした。

今回の学校訪問は学校側の要望で、熱中症等を考慮し本来予定されていたDVDの上映も中止しての時短活動でした。

今後、体育館にも空調設備が設置される予定ですが、社明運動のために空調の効いた体育館で行えるのか、あるいはリモートでの講話等、学校側と相談し進めていきたいと思ひます。



日の出分区

辻本 恵子

今年度の社会を明るくする運動は、東町長に総理大臣のメッセージ伝達することから始まりました。社会を明るくする運動についての取り組み、スケジュール等について説明を行い、保護司活動への理解、協力をお願いすることができました。

次に、推進委員会については町長が推進委員長、メンバーを絞って各種団体の長の方、五日市警察安全安心課長、保護司、事務局の構成とし、社会を明るくする運動についての理解・意識の広がりを願い、意見交換ができる規模の会にしました。推進委員会の後には五日市警察署小林課長から、警察官になった経緯や人との繋がりのお話、身近な詐欺、動物の被害対応、日常の業務等の講演をいただきました。

駅頭広報活動は、7月1日午前7時から1時間武蔵引田駅で行い、今年度はウェットティッシュを配布しました。

学校訪問は、町内の中学校2校にリーフレット、ウェットティッシュを持参し社会を明るくする運動についてお話しし、学校内の様子などを伺いました。10月25日の日の出町産業まつりでの広報活動に、中学生の参加をお願いしました。同日に小学校も訪問し小学生向けのリーフレットを持参し、高学年の生徒に配布をお願いしました。

そのほか、町の防災無線での広報、町役場やイオンモールでデジタルサイネージ、ポスター等で周知を行いました。

10月25日産業まつりは、午前・午後に広報活動を行いました。

社会を明るくする運動がなかなか浸透しない悩みはありますが、皆さんの意見を聴きながら協力しあって、犯罪のない街づくりへの広報活動を続けていきたいと思っています。



奥多摩分区

瀧島 肇

6月20日社会を明るくする運動強調月間に向けて、役場・奥多摩駅・古里駅周辺にのぼり旗等を設置し、終了後、町長に総理大臣メッセージを伝達しました。

7月1日奥多摩駅にて、駅頭キャンペーン開始のセレモニーを町長、教育長、民生・児童委員、更生保護女性会の皆様に参加をいただき行いました。町長、分区長の挨拶の後、奥多摩駅と古里駅に分かれて、啓発グッズの配布など広報活動を行いました。保護司犬のラッチーも参加して、皆に愛嬌を振りまき活動してくれました。駅頭活動終了後、町内の保育園、小中学校を訪問しました。啓発グッズを生徒・先生全員分を持参して、社会を明るくする運動について理解を求めました。園長先生や校長先生からもお話を頂き、特に小中学校では不登校が今年度は0になったことや、子供たちの生活状況など貴重なお話も聞かせていただきました。

駅頭活動、学校訪問と早朝から忙しい1日でしたが、充実した活動が出来たと思います。



檜原分区

小林 悦雄

6月5日、檜原村吉本村長に総理大臣メッセージを伝達した後、社会を明るくする運動推進会議を開催し今年度の活動計画を策定しました。

7月1日、檜原村役場、都民の森など村内6か所に社会を明るくする運動のぼり旗を設置し、翌2日には武蔵五日駅頭で啓発活動をあきる野分区と共同で実施しました。

8月16日開催の「払沢の滝ふるさと夏まつり」において、分区保護司3名、更生保護女性会員2名、役場事務局2名の協力のもと払沢の滝入り口やまつり会場で啓発グッズを配布して広報活動を行いました。



(中間報告) 令和7年度「社会を明るくする運動」参加人員総括表

令和7年8月31日

(延人数)

区 分	内 訳								令和6年度
	保護司	更生保護女性会	行政関係者	一般/各種団体	小・中学生	高校生	教員	合計	
青 梅	138	14	21	248	52	0	34	507	569
福 生	93	29	83	106	26	0	13	350	394
羽 村	81	11	22	70	0	0	27	211	587
あきる野	208	9	57	0	50	5	36	365	446
瑞 穂	28	20	13	0	5	0	2	68	924
日 の 出	27	0	15	6	0	0	6	54	114
奥 多 摩	44	5	37	13	18	0	21	138	250
檜 原	31	2	21	7	0	0	1	62	55
西多摩地区	0	0	0	0	0	0	0	0	
合 計	650	90	269	450	151	5	140	1,755	3,339
令和6年度実績	879	142	318	494	1,231	5	270	3,339	

(注) 表の「西多摩地区」は、他分区への支援者数の該当欄。

令和 7 年度 第 6 ブロック保護司組織運営連絡協議会

福生分区 野島栄二

10月15日、東京たま未来メッセ会議室（八王子市）において第6ブロック保護司組織運営連絡協議会が開催されました。第6ブロック協議員71名、オブザーバー4名に東京保護観察所杉山所長はじめ13名の来賓を招いて盛大に執り行われました。

昨年が続いての協議題「社会を明るくする運動について考える」に対して各保護司会からの発表がありました。共通の主な課題としては「啓発活動の具体的取組み」「深刻化する猛暑対策」「保護司の参画意識」「行政との役割分担」などがあり、発表内容として「アプリ・SNSを活用しての発信」「中学校への出前授業」「実施場所を室内に変更／実施時期・時間の変更」「保護司間の意見交換・情報共有の工夫」等々あり、



第6ブロック協議会

各地区での取組みの様子が伝わりました。また行政との関わりについては自治体によって役割分担

も異なり、中でも八王子地区は行政の協力が大きいようで改めて地区・分区により温度差があることが感じられました。普段は関わることのない他地区との貴重な協議を行うことができ、今後の活動指針になったと思います。

来賓の皆様から頂いた講評では「総じて大変充実した内容の協議会であった」とのお言葉をいただきました。



懇親会

きました。未来メッセという素晴らしい会場で活発な協議会を行うことが出来たと思います。

開催に際しご尽力いただいた八王子地区保護司会はじめスタッフの皆様には感謝申し上げます。



令和 7 年度自主研修を終えて

瑞穂分区 鈴木早苗



本年度の自主研修は、8月20日福生市もくせい会館において西多摩地区保護司会各分区から53名の参加により、「薬物問題」をテーマに薬物対象者を数多く担当した瑞穂分区の小峰恒夫保護司による体験発表が行われました。

小峰保護司の体験をお聞きして感じたことは、薬物から抜け切れず再犯してしまう若者が多くなっているということ。世間にも馴染めず、孤立化してしまうというお話も聞きました。私たち保護司としてできることは、寄り添ってお互いの信頼関係を高めていくことがとても大切だということでした。信じてあげて話を聞くこ

とですね。

グループ討議の中で感じたことは、小さい頃の家庭環境なども影響しているのだと改めて思いました。少しでも薬物乱用する人が減少していく世の中であってもらいたいと願っています。

最後に、東京観察所立川支部安藤保護観察官による講評をいただき、有意義な研修会となりました。



西多摩桐友会 齋藤徹新会長挨拶



西多摩桐友会

会長 齋藤 徹

日頃は、西多摩桐友会の運営につきまして西多摩地区保護司会の会長様はじめ皆様には大変お世話になり心より厚く御礼申し上げます。

本年5月に開催された西多摩桐友会定例総会において役員の改選があり、令和元年から7年にかけて会長を務められ、会員数の大幅な増加と桐友会活動の発展に寄与された「下嶋先生」が退任され、不肖私が後任として会務を執行することになりました。

桐友会では、会員同士の親睦などの他、会則に掲げる

(1) 更生保護思想の普及宣伝

(2) 犯罪予防活動への参加

を基に「保護司会の社会参加活動」、「社会を明るくする運動」等の協力参加や「新保護司候補者発掘」への協力等微力ながらご支援して参りたいと考えております。

また、10年以上保護司として在任された方が、退任後ご希望により保護司会長さんに申請書を作成して頂き、東京桐友会に申し込むことによって会員資格を得る事ができます。

皆様も、退任後は是非ともご加入いただきたいと存じます。

長い夏の猛暑が終わり、10月に入ってようやく秋の気配が感じられるようになりました。

保護司の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。就任のご挨拶とさせていただきます。

西多摩地区更生保護女性会結成60周年記念式典

更生保護女性会福生地区 田村敬子



岸野会長挨拶

令和7年10月23日、あきる野ルピアに於いて西多摩地区更生保護女性会結成60周年記念式典が執り行われました。

西多摩地区更生保護女性会の歴史は、昭和40年に発足し、現在は青梅、奥多摩、福生、あきる野、檜原、瑞穂の6地区で構成されています。長いコロナ禍もございましたが、60年の長きにわたり、やり直したいと思う人達に寄り添う社会の実現に向けた活動は、本当に崇高であると思います。

第一部の式典は、岸野会長の挨拶の後、吉野あきる野市副市長、杉山東京保護観察所長、田中東京保護観察所立川支部統括保護観察官、中

野西多摩地区保護司会会長のご来賓から祝辞を賜り、粛々と進行いたしました。第二部では、あきる野地区杉田部長が所属する「サウス・シー・アイランダーズ」のメンバーによる素敵なハワイアンサウンドで心も温かくなり、楽しいひと時を過ごすことができました。

西多摩地区更生保護女性会の皆さまが、益々お健やかで、広く手を携えて活動していかれることを心よりお祈りいたします。



第一部



第二部

会 務 報 告

新任保護司（敬称略）

以下の方々が委嘱されました。
今後のご活躍を期待いたします。（令和7年9月17日発令）



（あきる野分区）
中村 則仁



（あきる野分区）
大出 英祐



（あきる野分区）
栗原 和夫



（あきる野分区）
木下 美彦



（日の出分区）
高野 基代

退任保護司（敬称略）

長い間お疲れさまでした。
今後もますますお元気でご活躍くださいますよう
ご祈念申し上げます。（令和7年9月16日付）

澤井 和子（あきる野分区） 山森 健吉（青梅分区） 藤谷 立自（青梅分区） 福島 政夫（瑞穂分区）

コラム

「人里」 みなさんこれはなんと読むかご存知ですか？

正解は「へんぼり」です。7月26日、昨年度地域活動部会の皆さんで人里の玉傳寺に行ってきました。昨年亡くなられた地活部員の辻内さんのお寺です。そこには枯山水の庭園があり山を眺めながら美味しいお茶とケーキを頂きました。帰りにあきる野の喫茶店でスイーツとコーヒーで昨年度の地活部の話で盛り上がりました。五日市街道は百日紅さるすべりの花が満開で記念の写真を撮り、「次は忘年会ですね」と言って別れました。



（奥多摩分区 小峰一郎）

編集 後記

猛暑日が過去の記録を更新した令和7年。春と秋がどこかへ行ってしまったような季節でもあったように思います。保護司の皆様は如何過ごされたでしょうか。第146号は、部長を中心にメールを活用したデータのやり取りで編集作業を行いました。今号は、各分区で行われた「第75回社会を明るくする運動」を中心に紙面を構成しました。また、皆様に募集させて頂いた「コラム」も寄稿された原稿から今号は「「人里」みなさんこれはなんと読むかご存じですか？」を掲載させていただきました。次号以降も募集しますので是非原稿をお寄せください。

これからも紙面の工夫を重ねていきたいと思いますので、ご協力をお願いします。寒い冬も予想されています。皆様のご健康とご活躍をお祈りいたします。

広報部副部長 岡部秀敏